

このニュースは、筑波研究学園都市記者会、文部科学記者会その他報道各社にリリース
します。

Press Release

令和7年5月12日
国立大学法人 筑波技術大学
国立大学法人 上越教育大学

国立大学法人筑波技術大学と国立大学法人上越教育大学との 連携協定の締結について

国立大学法人筑波技術大学と国立大学法人上越教育大学は、令和7年5月9日(金)に包括連携協定を締結いたしました。

この協定は、両大学の強みを生かし、教員養成、教育、研究等に係る連携協力を推進していくものです。

■ 連携協力事項

- (1) 教員養成の高度化に関すること。
- (2) 共同研究その他教育・研究に関すること。
- (3) 学生・教職員の交流に関すること。
- (4) 施設・設備の相互利用に関すること。
- (5) その他連携・協力に関する必要な事項

■ 施行日

令和7年5月9日から



■ 学長コメント(協定に期待すること。)

筑波技術大学 石原 保志 学長

筑波技術大学の学部学生は、聴覚または視覚に障害があります。その学生たちは、大学入学までに、親御さんをはじめとして様々な方々に支えられ、成長してきたという気持ちが大きいように感じます。その心情が「次は私が支える立場になりたい」というモチベーションに繋がった時に、教師という職業が選択肢の一つになります。上越教育大学には、そのような学生を大学院に受け入れていただき、今では何名もの卒業生が教鞭をとっています。連携協定締結後は学生どうしの交流を行い、「発達や成長」「障がいとは何か」といったことを考える契機になることを期待します。



上越教育大学 林 泰成 学長

上越教育大学は、入学定員 190 名の教職大学院を有しています。そこでは、より高度な教員養成に取り組んでおり、本学の卒業生だけでなく他大学を卒業してきた学生たちも、これまで学んできた専門を生かしつつ教師として活躍できるように、教師になるための学びを深めています。筑波技術大学の卒業生の皆さんの中にも、上越教育大学教職大学院において教育の理念や方法を学び、教授スキルを磨いて、今では教壇に立って活躍している人がいます。連携協定を結ぶことによって、従来の交流をいっそう密にし、加えて、教員間の研究協力などでも連携できればありがたいと願っています。



■ 筑波技術大学について

我が国で唯一の障害者のための大学。「障害者高等教育の拠点」として、聴覚障害、視覚障害を中心に、個々人の障害特性に即した教育、支援を行う。職業分野で能力を発揮できる障害者を輩出することで DE&I 環境を醸成し、ひいては Well Being な社会の実現に貢献。障害学生支援 のノウハウを他大学に提供し、企業、各種機関と連携して誰もが情報にアクセスしコミュニケーションを可能とする研究にも重点を置いている。

■ 上越教育大学について

国立の教育大学として、昭和 53 年 10 月 1 日に設置。

現在は、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程(教職大学院)を設置し、教職に関する精深な学識を身につけ、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を有する教育者を育成している。

また、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育学研究科(博士課程)」の構成大学である。

【問い合わせ先】

(協定の内容について)

・筑波技術大学大学戦略課企画戦略係

TEL:029-858-9310

E-mail:kikaku@ad.tsukuba-tech.ac.jp

・上越教育大学研究連携課研究連携チーム

TEL:025-521-3669

E-mail:kensien@juen.ac.jp

(取材の申込について)

・筑波技術大学広報室

TEL: 029-858-9311

E-mail:kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp

・上越教育大学総務課広報チーム

TEL:025-521-3626

E-mail:kouhou@juen.ac.jp